

取組状況のフォローアップ

(湧別川ほか)

■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

・防災ハンドブックの更新



・重要水防箇所の共同点検を実施



■ 効率的・効果的な排水活動のための取組

・災害対策用機械の操作訓練を実施 ⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する



■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

・市町村向け研修会を実施。

○風水害時の災害対応勉強会(遠軽町)



■水防活動体制の強化

・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行った。



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- ・生田原川にて河道掘削を実施。



■水防活動の資機材整備

- ・生田原川にて防災備蓄基地のヤード造成を継続実施



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 1日防災学校の実施に協力しました。
(湧別町) 中湧別小、湧別中、湧別高校 (遠軽町) 丸瀬布小



中湧別小校 防災学校



湧別高校 防災学校



丸瀬布小 防災学校

- 北海道警察北見方面本部と共同で、警察官を対象とした教養セミナーを実施しました



遠軽署 教養セミナー

⇒R5年度以降も引き続き、継続実施します

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・ 計画的に各種訓練等を実施して練度の維持・向上を図るとともに、定期的に非常呼集訓練を実施して即動態勢を点検



災害用ドローンを使用した訓練



訓練における救命具の準備



災害等に対する即動態勢を保持

引き続き **計画的に訓練を実施**するとともに、**即動態勢を保持**

■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・ 各結節を捉えた各種器材の整備（機能点検）・取扱い教育を実施して災害等の事態に万全を期すとともに、気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育



人命救助システム（車両積載時）



人命救助システム内容品（抜粋）



取扱要領を各隊員に教育

引き続き **各結節において整備（機能点検）・取扱い教育を実施**するとともに、**気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育**

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 北見方面本部

災害用ドローン操縦訓練



積み土のう訓練

○ 北見方面本部及び遠軽警察署

網走地方気象台と連携した教養セミナーの開催



北見方面本部



遠軽警察署

○ 遠軽警察署



ミニ広報紙や各種講話を通じて防災意識を啓発



(その他)

- ・ 常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した。(北見方面本部)
- ・ 大雨、河川の水位、天候の見通し等について、関係機関と情報共有を図った。(北見方面本部、遠軽警察署)
- ・ 振興局主催の「風水害時の災害対応勉強会」に参加した。(北見方面本部、遠軽警察署)

⇒R5年度以降も引き続き、継続して実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○非常災害時における情報伝達手段の多重化
 令和3年12月～従来の登録制メールに加え、LINEによる「防災情報」の配信を開始。

〔令和4年11月現在：友だち登録 560件
 登録制メール1,457件〕

○災害用備蓄食料の整備・更新

・保存食の更新、整備(麺類・汁物を追加)



アルファ米 (2,000食)



保存用パン (576食)



保存用うどん (360食)



容器付汁物 (200食)



⇒R5年度以降も引き続き災害用備蓄食料の整備・更新を実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○防災意識の啓発

・1日防災学校の実施(小学校)



1・2年生:防災カルタ(網走地方气象台)



3・4年生:防災クイズ
(役場・NTT北見営業支店)



3・4年生:防災クイズ
(NTTコミュニケーションロボット「sota」)



5・6年生:電気についてを学ぶ
(ほくでん遠軽ネットワークセンター)



⇒R5年度以降も引き続き、防災学校を継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○防災意識の啓発

- ・1日防災学校の実施(中学校初開催)



中学校全校生徒:地震・津波実験で防災を学ぶ(網走地方気象台)



地震津波体験学習

⇒R5年度以降も引き続き、防災学校を継続実施する

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 防災活動のためのハード整備及び有効活用の取組

- ◇ 遠軽町芸術文化交流プラザを新たな防災拠点として使用要領の検討開始



災害対策本部代替施設(小ホール)

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 防災活動のためのハード整備及び有効活用の取組

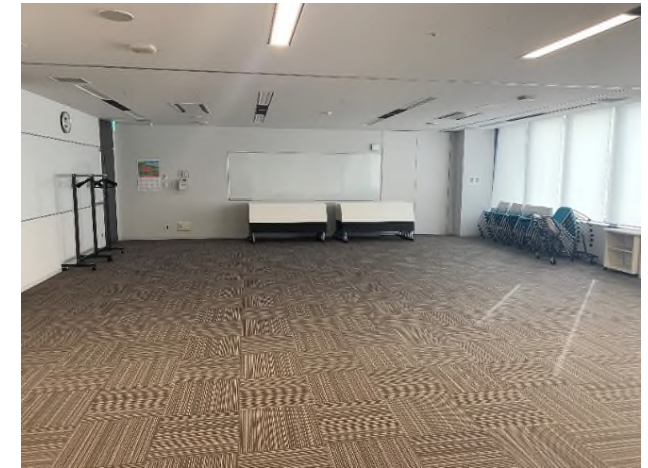
- ◇ 遠軽町芸術文化交流プラザを新たな防災拠点として使用要領の検討開始



物資搬入場所



備蓄倉庫



リエゾン等待機場所



避難所

■ 迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ・ 網走気象台職員の協力を得て1日防災学校の実施(丸瀬布小学校)

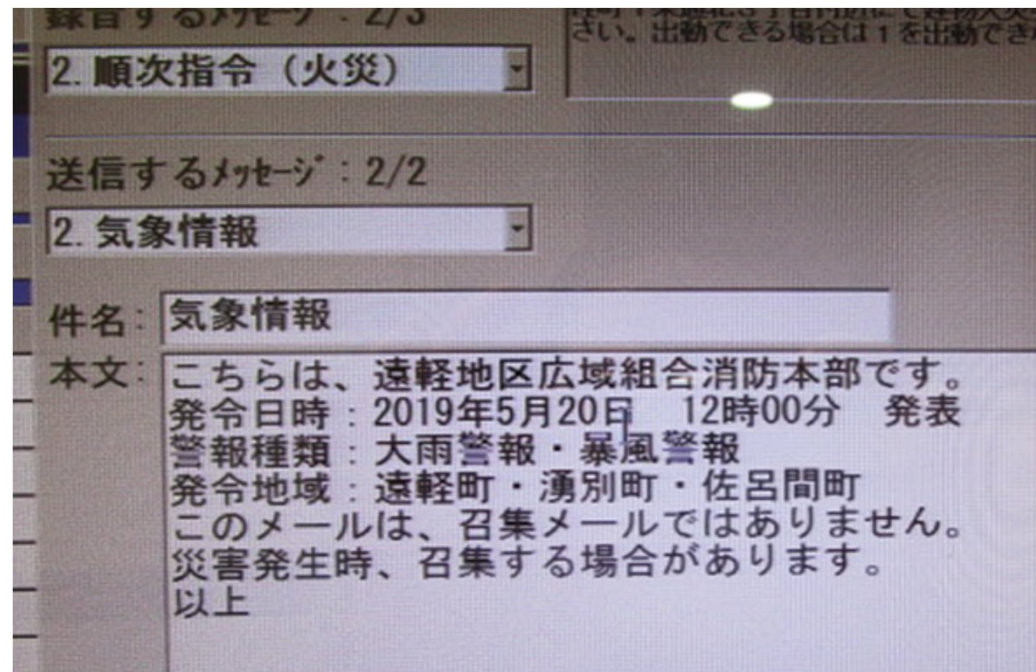


- ・ 自治会主催の避難訓練時における、防災意識の啓発



■ 避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ・災害時に消防職・団員を招集する消防指令システムの機能で、電話とメールにて災害の発生情報と招集を行うものです。
- ・このメール機能を使って、大雨・暴風・暴風雪警報等の情報伝達を行っています。



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

■ 水防活動に必要な情報の共有

- ・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う
- ・毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う

・一級河川水防連絡協議会地方部会が実施する合同巡視に参加し、資材ヤードの水防資機材や漏水・法崩れの恐れがある箇所、工事箇所を消防職・団員で確認した。



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

■水防活動体制の強化

・水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集(リーフレットやHPを通じた広報活動)や水防協力団体の募集・指定の促進

- ・不特定多数の人が出入りする場所に、消防団員募集ポスター掲示の協力依頼。
- ・消防団幹部を中心とした募集活動、事業所への声掛け。



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する